

スポ推よこすか



25号

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成26年9月1日 発行

第4回ソフトバレーボール大会

第4回ソフトバレーボール大会が、6月22日(日)にサブアリーナにて開催されました。参加チームも年々増加しており、今年は10チーム増えて36チームで、この大会が着実に市民の皆様に認知されて来ていると実感しました。試合数の増加もあり、スポ推だけの審判が大変で一部のチームの方に副審を協力して頂き、次回の大会に繋げることが出来たと思いました。

今年は、優勝・準優勝のチームへは、従来の賞状から盾に変えて少し重さを感じさせる賞にしました。

参加者からは、過去3回出場しているが今回は、予選ブロック・順位トーナメントと試合数が多く、トーナメントでは、レベルの近いチーム同士の対戦で楽しくプレーが出来たと喜んでいただきました。

この様な声をいただくと大会を企画して本当に良かったと実感しました。

次回は、もっと満足していただけるよう、スポ推全員でソフトバレーボールの研修を重ねて、ジャッジも明確に参加者が楽しく正しいプレーが出来るように審判の研鑽と地域への普及につとめたいと思います。

当日のスタッフの皆様、早朝からご苦労様でした。

男子の部

優勝 田浦オックス
準優勝 大楠バレー

女子の部

優勝 Madamant gold
準優勝 浦郷 A

男女混合の部

優勝 ショーロンポー A
準優勝 リンドス



記事 石川 輝夫副会長(森崎)

関東スポーツ推進委員 研究大会

6月13日（金）14日（土）の両日にわたって、群馬県立総合スポーツセンター他に、関東・甲信1都8県からスポーツ推進委員・行政のスポーツ担当の2,000名を超える参加で開催されました。アトラクションはI部で、前橋市がウクレレ生産日本一ということで「ウクレレ演奏とフラダンス」。II部は、正月の風物詩“ニューイヤー駅伝”でおなじみの桐生市の「八木節」と二つ合わせて1時間強楽しみました。その後、関東スポーツ推進委員協議会表彰が、永年の活動で功績のあった方に89名の方に授与され、神奈川県は最大に24名の方が受賞されました。横須賀市からは、馬堀学区の椎名多賀子さん（総務部副部長）が受賞されました。基調講演では、M. Lab（ミムラボ）代表取締役、アディダスジャパン(株)専属アドバイザーの三村仁司氏から「世界

の選手に愛されるシューズづくり」と題して、シューズの大切さ、1足のシューズに人生を込め、かける想い。オリンピックシューズ・金メダルシューズの作成の秘密、そして靴作りへの情熱を伺いました。



指導者は“選手への奉仕”が必要で、私財をなげうってやる必要があると、事例をあげながら講話されたのが印象に残りました。二日目は3つの分科会に分かれて実施されましたが、横須賀市は第一分科会に参加しました。山西哲郎氏（立正大学教授）による「歩くことについての理論と実践」では、セルフチェック（自分の体の声を聞け）の大切さや素足歩き（足の感覚づくり）の重要性を説かれ、巧みな話術と参加者を巻き込んだ講義と演習の進め方で、あっという間の2時間半でした。今回学んだこと、気づいた事をこれからの活動に活かしていきたいと思います。

記事 林 但 副会長（富士見）

高齢者健康のつどい

梅雨の合間の晴天に恵まれた6月15日（日）に、横須賀アリーナにて「高齢者健康のつどい」が行われました。今回で37回目の歴史ある高齢者の方々が楽しく運動する事を目的とした横須賀市主催のイベントです。万が一に備え救急隊もスタンバイする万全の体制を敷き、我々スポーツ推進委員が軸となり、競技・運営を進めていきました。参加資格は60歳以上なのですが、参加人数は約670人！最高齢者96歳！の方も競技に参加されていました。横須賀市の人口の3割近くが高齢者だそうですが、皆様本当にお元気で楽しんで参加されていました。町内会によってはチームTシャツを揃えた気合の入った所もありました。高齢者の定番スポーツを取り入れた「ゲートボールリレー」では日頃の成果が見ることができました。最後は参加者全員で輪になり民謡を踊り締めくくりました。競技前に素晴らしい演奏を聞かせて頂いた市立横須賀総合高校吹奏楽部の生徒達は、競技にも参加してもらい、孫と祖父母のような微笑ましい競技となりました。ほぼ同時刻に地球の裏側でワールドカップの初戦を日本チームが戦っていましたが、こちらにも負けず劣らずの熱い戦いが行われた一日でした。



記事・写真 鈴木 昭仁 広報部(長浦)

第55回学区対抗

児童ソフトボール大会(7月27日)



試合結果

Aブロック 山崎 Bブロック 池上 Cブロック 小原台
Dブロック 根岸 Eブロック 森崎

第27回学区対抗 児童ミニバスケットボール大会 (7月27日)



試合結果

Aブロック 小原台
Bブロック 田戸
Cブロック 大矢部
Dブロック 久里浜・岩戸

ソフトバレーボール研修会

8月10日（日）西体育会館において、平成26年度ソフトバレーボール研修会がスポーツ推進委員28名の方が参加し開催されました。

武会長の挨拶に続き、石川副会長の指導の下、ラジオ体操で身体をほぐし、準備完了本番スタートとなりました。今回は初めてこの研修会に参加する人もおり、小菅さん（夏島学区）や萩原さん（浦郷学区）たちが講師となり、初歩的なネットの張り方から始めました。ソフトバレーボールの（ネット）支柱はバドミントン用の物を使用します。バドミントンはネットプレーはありませんが、ソフトバレーボールにはネットプレーがあり、引っ張られたネット下端の張りに一定の強さが要求されることとなります。その調整にネット上端の水平帯の中の紐と、それと平行の下端の紐を引っ張る力の兼ね合いを考慮する必要があります。次に小菅さんが講師となり、地味だが大事な存在の副審の役目についてルールに併せて解説されました。特に吹笛とハンドシグナルの必要な場合とそのタイミングなど、萩原さん（副審）・松崎さん（神明学区/主審）・細川さん（走水学区/選手）の再現プレーに合わせて具体的に解説されました。

更に、審判として動体視力はともかく、正否判断の難しいオーバーネットの具体例を再現し、細かく解説されたのは、とても良かったです。

分かっていそうで分かってなかった人も多く、本当に目から鱗が落ちました。

続けてAグループ・Bグループに分けると共に、それぞれ更に三組に分かれ、一組が主審・副審・線審・点付けを、あとの二組が模擬試合をし、審判等の実技研修となった。これは全員が全ての役を経験出来るようにローテーション方式で実施しました。

試合中のサイドアウトやラインクロス、ワンタッチ、タッチネット等の際、主審や副審、線審の吹笛とハンドシグナルが不適正の時は、A B各グループの講師が解説指導を行いました。 ↗

今回の各講師の皆さんの卓越した指導力に改めて大きな拍手を送りたいと思います。

研修会がこうして成功裡に終了したときには、午前中の台風11号の影響による豪雨も止んでいました。



記事・写真 臼井 喜八郎 広報部（森崎）

編集後記

今年の夏も酷暑でした。しかし、空を見上げれば秋の気配を感じる雲もちらほら。秋はスポーツの秋、食欲の秋、読書の秋。さまざまな楽しみ方があります。

気持ちのいい気候のなかで、思い切り体を動かすのも良いでしょう。学校の夏休み期間中のラジオ体操にも指導者として参加しましたが、一日の始まりに体を動かすとその日がとてもスッキリし、充実した一日でした。皆さんも自分のペースで、体づくりにも励んでみてはいかがでしょうか？

広報部部长 原 暁彦（長浦）